

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月10日

協議会名:	岡谷市市域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>岡谷市は長野県のほぼ中央に位置し、面積は85.10km²、人口は49,262人(H29.10.1現在)である。当市の地域公共交通の状況は、JR中央東線と、この鉄道をほぼ平行した諏訪地方唯一の民間路線バス(岡谷・茅野線)を軸に広域的な移動手段としており、これら鉄道及び地域間交道路線バスが有効利用できるよう、市内を広範にコミュニティバス(シルキーバス)が公共交通網を形成している。</p> <p>近年の人口減少や自家用車の普及により、当市の公共交通機関利用者数は減少傾向にあり、行政負担は増大しているが、「超高齢社会における交通弱者、利用者要望を踏まえた利用者重視の視点、持続可能な公共交通体系の構築」を目標に掲げ、地域幹線交通と接続するフィーダー系統を組み合わせることで、生活に不可欠な交通網の確保と利便性の維持を図っている。</p>